

奥会津 福島県



只見川に架かるJR只見線の
アーチ型高架橋。色づき始めた
奥会津の山々を背景にした、
まさに絶景だ



「森の校舎カタクリ」で出
される地元の手料理

人里からちょっと外れれば、ご覧のように「ぬくもり」
のある森林が広がる



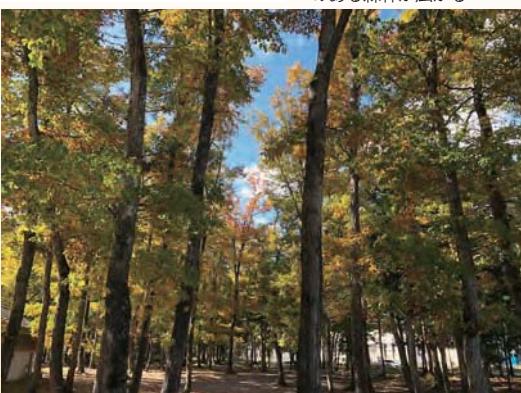
柳津（やないづ）町にある赤
べこ発祥の地・福満虚空菩
薩圓藏寺。「清子」がお出迎え



奥会津は名湯・秘湯の
地でもある



戊辰戦争の際の銃痕が
寺の柱にいまだに残る



「森の校舎カタクリ」に宿泊した。
廃校となつた立派な建物を、子供の

声が途絶えた寂しさから三島町の
人々が手作りで宿泊施設として甦ら
せたものだ。部屋名を「二年三組」
などと呼んでいるが面白い。食事は
地元の主婦の手作り。心のこもつた
手料理で、すこぶる美味い。

失つたら二度と取り戻せない日本
の農山村の景観や文化を守る活動を
続ける特定非営利活動法人「日本
で最も美しいと村」連合三島町を、
「日本で最も美しい村」(the most
beautiful villages in Japan)と認定した。

日経の「何でもランキング」で紅
葉の美しい鉄道路線第一位に選ばれ
た只見線に乗つて、只見川に沿つた
美しい光景を御堪能頂きたい。ここ
も豪雪と過疎化に悩むが、失つたら
二度と取り戻せない景色が残る。

日本で最も美しい村で

文/写真：戸田光太郎、写真協力/福島県観光復興推進委員会